

立ち読み版

Interview

高橋

株式会社トランビ 代表取締役

たかはし

聡さん

そう



プロフィール：1977年、長野県出身。長野高校、デュポール大学情報システム学科を経て、2001年にアクセンチュア株式会社入社。2005年に家業であるアスク工業株式会社に入社し、2011年にM&Aマッチングサービス「TRANBI」(トランビ)をアスク工業の新規事業としてスタート。2016年、サービス向上のため株式会社トランビを新設し、同事業を会社分割により移管、代表取締役に就任する。著書に『起業するより会社は買わない』(講談社+α新書)、『会社は、廃業せずに売らない』(実業-日本社)。

誰もがM&Aの 買い手・売り手になる時代をつくる

【取材・文】 増田 竜雄 中小企業診断士 【写真提供】 株式会社トランビ

The prologue

事業承継・M&Aプラットフォーム「TRANBI」(トランビ)立ち上げのことを、「点と点がつながって、このような形になった」と高橋社長は振り返る。「会社で大切なことは、会社そのものを売るようにしておくこと」とアメリカのホストファーザーは彼に教えてくれた。ところが、長野で家業を継いでから出会ったのは、黒字なのに跡継ぎがいなくて廃業していく取引先、買い手探しに手間がかかるからと高額な手数料を取る仲介業者、小規模M&Aはお金にならないと言う金融機関——。どんな事業にも必ず価値があって大切な役割を果たしているにもかかわらず、である。

高橋社長は、事業者として何が必要なのかを考え抜いた。そして、「インターネットを使って、買い手と売り手をマッチングする仕組みを作れば役に立つはずだ」と気づいた。売り手の苦しみ、買い手の狙い、その両方から、事業の価値と社会的意義の高さに勇気づけられた。そして今、国内最大のユーザー数5万5,828名、累計M&A件数5,678件、累計マッチング数2万6,150件(5月末時点)を数えるまでに大きく成長した。日本のM&Aに対し、TRANBIがこれまで果たしてきた役割と今後について、掘り下げて聞いてみた。

Interview >>> So Takahashi

M&Aを広める 「メディア」として

——日本でM&Aのイメージが変わる転機は、どのようなことでしたか。

TRANBIを立ち上げた頃、金融機関もインターネットでM&Aを進める発想はなく、事業者にもドラマなどの影響で「M&Aは怖いもの」というネガティブなイメージがありました。そのため、登録ユーザー数は伸びませんでした。

しかし、売り手ユーザーに会って話を聞くと、「相談したすべての専門家に断られ、従業員も顧客もいるのにどうすればいいのか悩んでいたが、買い手が見つかって良かった」と感謝されました。買い手ユーザーは、「ゼロから立ち上げようと思っていたのが、この事業を買ってスタートが早くできました」と喜んでいました。

転機となったのは、2017年秋に中小企業の後継者不在問題、いわゆる2025年問題が取り上げられてからです。中小企業約380万社のうち約127万社の社長が70歳以上で後継者不在、しかもこの半分の60万社が黒字廃業の可能性がある。これらが、しっかり代替わりしていかないと日本のGDPが22兆円なくなり、650万人の雇用が失われてしまうという危機感です。

その解決策がITベンチャー企業のマッチングサイトTRANBIにあるとして、日銀に紹介されました。そこから金融機関との提携が進み、「M&Aは中小企業でもできる」という認識が広がり始めました。社会の強い危機感に後押しされて、M&Aの意義を伝えられました。

——TRANBIの立ち上げ時にこだわったことは何でしょうか。

M&Aの啓蒙活動が必要だと思いました。事業者自身も金融機関も、中小企業がM&Aをできるとは



「TRANBI」とは、事業を譲りたい方と事業を引き受けたい方をWeb上でマッチングするインターネットを活用した事業承継・M&Aプラットフォームである。

思っていない中で、M&Aの価値を発信する役割をTRANBIが果たそうと強く考えました。その際にこだわったポイントは、「誰もがアクセスできるインターネット上に売却案件を掲載して、みんなが見られる」と、「個人事業主が掲載できること」でした。特に、個人事業主を入れるかどうかは、かなり悩みました。街の飲食店や居酒屋、美容室や学習塾など身近な商売が当たり前で売買されて、初めて日本のM&Aに対する認識が変わると考えて、個人事業主も登録できるようにしました。

現在の成約件数では7割が法人で、需要も多いですが、個人事業主も使えるようにしたことが、裾野を広げることにつながっています。



2018年3月、関東地方の信用組合と初の業務提携を結び、事業承継問題の解決に取り組む(右は那須信用組合・理事長の菊地一浩氏)。

続きは雑誌で